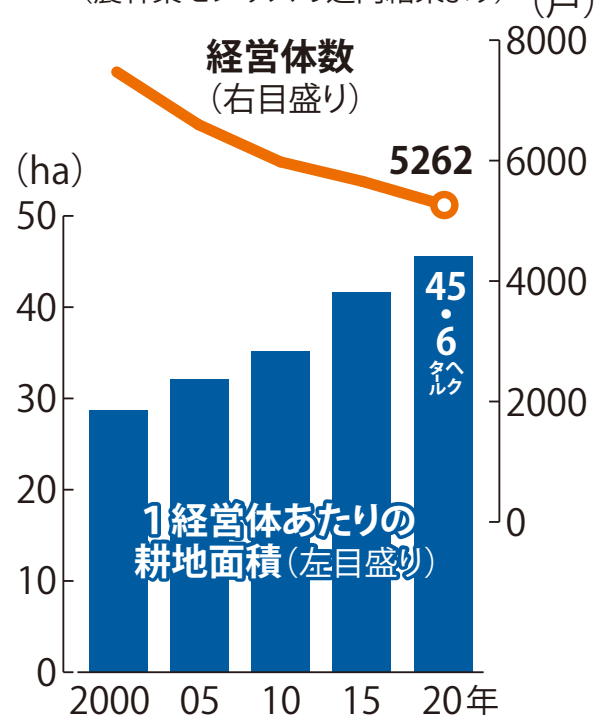




経営規模の拡大が続く十勝農業

◆十勝管内の平均耕地面積と農業経営体の推移

(農林業センサスの道内結果より)



農水省が公表した2020年の「農林業センサス」(概数値)では十勝農家の経営耕地面積(平均面積)がさらに拡大している点が明らかになった。十勝の1戸あたりの経営耕地面積は「45.6ヘクタール」で前回(15年)と比べ4.6ヘクタール増加。全道平均(30.6ヘクタール)の1.5倍の大きさだ。

全道の振興局別では4番目の数字。上位の宗谷(93.6ヘクタール)、根室(83.2ヘクタール)、釧路(81ヘクタール)はいずれも酪農地帯で、放牧地が含まれることから面積が大きくなった。ただ十勝は「畑」の耕地面積全体でみると23万868ヘクタールで、全道の約27%を占めて最も広い。

一定規模以上で生産を行う十勝の5262戸のうち、面積でみて最も多いのが40%を上回る「30ヘクタール〜50ヘクタール」の100ヘクタール以上も4.1%で、前回から0.8ヘクタール増加した。

耕地面積
畑の広さ道内一
45.6ヘクタール
規模拡大続く

電子版新連載「美味来燦〜農とつながる」スタート

十勝毎日新聞電子版では電子版ジャーナルの新連載「美味来燦〜農とつながる」を掲載しています。

十勝の農家や酪農家の「こだわりの食材」がおいしい食品へと変わる過程を追いつながる。食品・菓子メーカー、飲食店、ホテル、消費者など関わる人たちの生の声を届けます。生産者の人生や食へのこだわりといった価値観、肝になる農業技術や食品加工・生産技術、創意工夫などを盛り込みつつ人間味あふれる姿を伝える企画です。

「生産者の顔」を見えやすくするとともに、食に関わる幅広い人々のビジネス上の興味・関心に応えます。初回は、十勝加藤牧場(帯広市)と、洋菓子店「ルタオ」で有名なケイシイシイ(千歳市)が二人三脚で美味しいスイーツを創り上げる話です。

ゴミ処理費用 削減しませんか？

導入事例

帯広市

農畜産業者A社様

JK-400A型

焼却物：廃プラ他

帯広市

農畜産業者B社様

JK-400A型

焼却物：廃プラ他

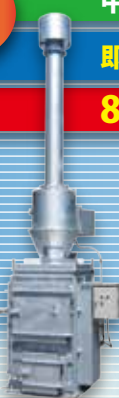
令和5年3月31日まで

導入
メリット

中小企業等経営強化法に基づく支援措置が利用可能です

即時償却または税額控除(10%)

8つの対象機種でゴミ処理費用削減サポート

ダイオキシン類
対策特別措置法対応・
構造基準適合JK-350A
JK-400A
JK-700AMY-400A
MY-700A

FL-700RA



FL-700SA



BS-700A

いま
現在よりもっとよく…
塵芥焼却炉製造販売

株式会社 サンヨー 東北営業所

岩手県北上市里分8-83 TEL.0197-72-7515 (代) FAX0197-72-7516

HP: <https://www.syokyakuro.com> e-mail: sanyo@syokyakuro.com焼却炉
という
選択